



この原稿を執筆している時点で感染者数は減少しているところですが、第6波が懸念されることもあり引き続き医療体制強化に努めている状況にあります。

そのような中2021年夏、一年延期された東京オリンピック・パラリンピックが、夢と感動をコロナで苦しむ全世界の皆さんに与えてくれました。コロナ禍にもかかわらず開催できたのは、日本の

国民性の賜物であろうと思います。多くの人はパラリンピックの出場選手に対して、障がいがあるから不幸だと思ってしまうのではなく、残された機能を最大限に引き出し磨き上げたパフォーマンスに、そして今日までの歩みに賞賛の拍手を送り、胸を熱くされたことでしょう。不幸ではなく不便なのだけの言葉通りに、障壁を取り払い真の共生社会を築く必要性を改めて強く感じました。柔道日本代表で盲学校教諭平井先生にも賞賛の拍手を今一度送りたいと思います。

さて、11月に開催予定だった福祉大会は、障がい福祉施策の最新の動向などをテーマに行う講演会や大会宣言、そして誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けた運動を推進するなど、本会にとって極めて重要な事業であります。また、それだけでなく会員同士が集まり親交を深められる場であり、私個人としても会員の皆さまと直接お話をさせていただける貴重な機会であったため、中止せざるを得ないのは本当に残念なこと

です。

そこで今回、福祉大会中止という痛手を補う意味でも、本会の機関誌を発行することとなりました。実際にお会いすることはできないかもしれませんが、この冊子をお読みいただき、本会の会員の皆さまを取り巻く今という時代について、そして私たちのこれからの歩みについて、しばし思いを馳せていただければと存じます。

結びに、会員の皆さまの今後ますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。来年こそは是非お会いしましょう。

令和3年11月17日

敬具

熊本大学大学院 自然科学教育学部  
土木建築学専攻 修士2年 M. S

敬具

敬具

敬具

敬具

敬具

敬具

敬具

敬具

敬具



総務常任委員会管内視察 (7/30)



市庁発電所リニューアル事業完了式典 (3/19)



植樹祭にて眼下に万江川、人吉市街を望む

熊本県議会議員 緒方勇二様

皆様からお手紙を戴きました！

拝啓 枯葉舞う季節となり冬の気配を感じる折、ますますご清祥のことと存じます。

先日は突然の訪問だったにも関わらず貴重なお時間を頂き、誠にありがとうございました。

上流地域と下流地域が相互に思いやり今後の水害に対応していく重要性、百太郎溝や幸野溝が昨年の水害において“第1、2の堤防”として機能していた可能性など、多くのことを教えて頂きありがとうございました。今後の水害対策において、川下りやラフティングなどの観光資源、被害に遭った橋の鉄の再利用など、災害の記憶を伝える手段も興味深く感じました。

また百太郎溝土地改良区、幸野溝土地改良区の理事長様を紹介して頂き、誠にありがとうございます。ご連絡を差し上げて、11月下旬にお話や現地を案内して頂くことが決まりました。

緒方様にお伺いした内容も踏まえながら、今後の修士論文の結果に活かすことができたいと思っています。時間が取れましたらまたお伺いしたいと思っています。

今後とも、どうぞよろしくお願い致します。



↑↓ 渡阿蘇神社遷座祭



↑ 上下 県技能士組合の皆様による仮据付



2021年(令和3年)5月18日 火曜日



↑ 人吉新聞の記事より

拝啓 梅雨の候、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

陳者令和三年五月十六日仮殿遷座祭に御参列戴き誠に有難うございました。

当社令和二年七月豪雨で全壊致しました。

先生の一年がかりの多大なる御尽力により多くのボランティアの皆様へ声をかけて戴き仮遷座を執り行うことが出来ました。私たちの力では到底及ばない事と役員、総代共に感謝申し上げております。此より後は渡の里の氏神様として心のよりどころになる様奉仕させていただきます。

渡の里も少しは落ち着きましたが、まだまだ復旧途上であります。一日も早く元の生活に戻れる事を願ってやみません。氏子の皆様の御平安をただただ祈るばかりです。

先生の県民を思う実直な人柄に感服致しております。今後共何卒ご指導ご鞭撻の程よりしくお願い致します。

末筆ながら皆様の益々のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

右、御礼のご挨拶申し上げます。

敬具

敬具

敬具

## 後援会のご案内

日頃より、熊本県議会議員おがた勇二をご支援いただきありがとうございます。

おがた勇二事務所では、後援会の会員を募集しております。ホームページ、メール、電話、FAXなどで受け付けておりますが、直接事務所でも入会の手続きをしていただくことができます。

皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

尚、お知らせいただいた個人情報、厳重に管理し、後援会活動の目的以外で使用することはありません。

至人吉

スーパードラッグ コスモス

ナフコ あさぎり店

至深田

あさぎり

至多良木

郵便局

くま川鉄道

国道219号

おがた勇二事務所

〒868-0424 熊本県球磨郡あさぎり町上西89-5  
TEL 0966-45-0311 FAX 0966-45-0312



# 令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興

## （1）被災者の不安・不満の解消

**質問** 被災地は、緑の流域治水の理念と現実のはざまで不安と不満が蓄積し、経験した浸水深と示された宅地かさ上げの高さとの違いに不満が募る。

①流域治水機能が発揮されても浸水不安は残るため、高い場所への移転を進めるべき。

②浸水場所での住み続けたいとの声には、



本会議一般質問に登壇（12/9）

安心な住環境を整備すべき。

③浸水エリアでは、垂直避難等の条件をつけて建築を許可するなど、一定の制限をかけるべきと考えるが、どうお考えか。知事に尋ねる。

**答弁（知事）** ①球磨村では、高台移転等の意向調査を踏まえ、宅地造成規模等を確定し、令和5年度中の一部供用を目指しており、移転希望者が希望どおりの再建を実現できるよう、市町村を支援する。

②浸水場所に住むため、測量結果を踏まえ、国、県及び関係市町村で協議し、ダム等による流量低減後を前提とする高さと宅地かさ上げ等を実施し、避難地等も整備することを確認した。

③市町村がピロティ化推進等の条例を制定する場合に、必要な支援を行う。それでも不安な世帯は、市町村に譲与する木造仮設住宅での生活が可能となるよう関係市町村と検討してまいる。

## （2）河川河床掘削の土捨て場確保支援、土砂の有効利用

## （3）球磨川堤防強化に伴う物流道路の必要性

**質問** （2）今次災害後の河川堆積土砂を取り除く工事の問題は、すぐ対応できる土捨て場や土砂の仮置場がなかった点。工事間利用も大規模災害時には、工期が合わず、発災後の土捨て場等確保も法令手続きや様々な調整が必要で、事前準備が必要と危惧する。そこで、球磨地域の土砂処分の現状と今後の大規模災害時の考え方について尋ねる。

（3）球磨郡は、東西方向の道路整備が脆弱で、国道は通学と車両の多さで、いつ事故が起きてもおかしくない状況。緊急輸送や物流機能の弱さも問題。そこで、堆積土砂を利用して、球磨川堤防を拡幅し、物流道路として2車線化できれば、災害時の支援の道ともなり、交通事情も劇的に緩和され、避難路にも成る。洪水で破壊しない堤防道路と堤防強化を流域治水メニューに盛り込むことが必要と考えるが、土木部長の考えを尋ねる。

**答弁（土木部長）** （2）県撤去の土砂

約83万立方メートルは、仮置場を確保し、約17万立方メートルを他工事等へ活用。残りは、25か所の土捨て場にて処分した。しかし、運搬車両の調整等の課題も明らかになった。災害時の発生

土砂は、まず、他工事等へ活用し、処分が必要な場合は、円滑な対応に努める。そのため、国や市町村と改善策について協議し、将来に備えたい。



災害関連緊急治山事業現場視察（2/4）

（3）災害復旧で作業車両や交通規制が多く、不便をかけている。千葉県八街市の事故を受けて調査を進めており、県管理道路は、早期に改善する。河川管理用通路は、河川巡視や緊急対策等に活用し、災害時は堤防が危険になるとも想定され、避難路への活用は困難で、治水メニューに盛り込むことは厳しいと考える。

## 2 緑の流域治水

## （1）災害に強い森林整備の在り方

## （2）森林基幹道菊池人吉線へのアクセス強化の必要性

**質問** （1）①災害に強い森づくりとは

県は、アジア中心に拡大を図ってきたが、新たな国への展開も必要と考える。輸出におけるこれまでの取組や今後の展開について、いかがお考えか。以上3点、農林水産部長に尋ねる。



ABMORI 植樹祭（11/2）

**答弁（農林水産部長）** 県では、林業従事者を令和元年度の828人から令和5年度に1,150人に、新規就業者数を85人から110人に増やす計画。内需は、法改正を受け、県の基本方針を改定する。公共建築物は、県が率先して木材利用に取り組み、民間建築物は、県民の木材利用が一層図られる環境整備に取り組むこととしている。災害公営住宅への木材利用は、昨年度「木造でつくる多様な共同住宅」プラン集を作成。これには、1階部分がコンクリートで、2階以上が木造の複合パターンもあり、災害公営住宅に生かされる提案をしている。外需は、バイヤー招聘、商談会等を行ってきて、昨年度の丸太輸出額は5年前の1.6倍、製材品も3.3倍に増えている。今後、EUをはじめ新規国への新たな商流を目指して取り組んでまいる。

どのような森林整備、森林の状態か。②定量的に示すことができるのか。③主伐期の森林の皆伐はよくないのか。④林業が構造的な不況にあえぐ中、どのように持続可能な森林にするのか。

（2）被災時の迅速な復旧等のため路網整備はとても大事である。森林基幹道菊池人吉線は、球磨川と川辺川に挟まれた脊梁を走るが、一般県道五木湯前線、五木多良木線、梶屋多良木線が、これに接続していない。この3路線と森林基幹道のアクセス強化ができないか。以上を、農林水産部長に尋ねる。

**答弁（農林水産部長）** （1）①間伐、

再造林、針広混交林化のほか、治山施設の整備等を促進するもの。樹種などの異なる森林が組み合わせり、土砂等の流出防止機能を発揮する森林を想定。

②その効果の定量化は困難。

③皆伐というだけで制限するのは現実的ではなく、

土砂流出を防ぐ方法を指導し、再造林の支援を行う。



新年素材初市に参加（1/7）

④森林整備は、林業との調和が不可欠で、担い手確保や木材の利用拡大などと歩調を合わせて取り組む。

（2）森林基幹道と県道、林道等によ

## 4 県立高校魅力化

**質問** 人吉高校五木分校は、定員40名に対して1年生は4名の現状で、地元の子供たちが進学先に選択していない。地元森林組合は人材育成に熱心だが、建設会社への転職者も多いと聞く。地域の林業活性化には、スマート林業等の技術導入が急がれ、林業担い手の育成が求められている。緑の流域治水の機能を発揮させ、災害に即応できる林業従事者の育成は急務である。そこで、五木分校創立50周年に合わせ、林業コースを基軸とした学科改編を実施し、林業大学校県南校と連携充実を図る高校にする考えがないか、教育長に尋ねる。

**答弁（教育長）** 県南地域における林

業従事者育成に向け、芦北高校、南稜高校及び八代農業高校泉分校で、実践的な林業教育に取り組んでいるが、募集定員が充足していない。今後3校では、スマート林業などの魅力化に一層取り組み、人材育成を図る。五木分校については、多様な進路希望をかなえる個別最適化した学びを充実させる。今後、普通科の枠組みにとらわれず、くまもと林業大学校県南校や森林組合との連携等による学びの多様化を図り、地域の声を聞きながら、地域に根差した魅力化に取り組んでまいる。

る路網ネットワーク化は、林業生産活動等に加え、非常時の代替路としても重要で、既存林道等を活用した改良で効率的整備が可能と考える。林道等の管理者の関係町村への技術的支援等でさらなる活用につなげたい。

## （3）田んぼダムの取組拡大及び幸野溝等における溢水対策

**質問** ①田んぼダムについて、整備当初30センチだったあぜの高さが、現在は半分程度で、貯留効果を発揮するには再整備が必要。球磨地域は、飼料用米の場合、あぜ塗りを行っているの



稲刈り（9/26）

で、あぜ塗り機による畦畔補強が効果的と考えるが、どうか。一方、あぜ塗りは、作業受託農家が行うため、その機械導入支援をどう考えているか。

②農用水路の幸野溝や百太郎溝が、土砂流入もあって水路からあふれ、浸水被害が発生するため、地下の砂利層にオーバー水を浸透させる設備導入を訴えてきた。豪雨時のオーバー水による被害軽減や地下浸透について、農林水産部長に尋ねる。

**答弁（農林水産部長）** ①田んぼダムは、モデル地区で、畦畔の再築造とあぜ塗り補強した水田で、貯留効果等を検証